

第 8 5 回 病 診 連 携 委 員 会 要 録

日 時	平成30年1月29日(月)	午後7時45分
場 所	浪速区医師会	会議室
出 席 者	浪速区医師会	7名
	南医師会	1名
	愛染橋病院	1名
	育和会記念病院	1名
	N T T西日本大阪病院	1名
	大阪医療センター	2名
	大阪警察病院	1名
	大手前病院	1名
	大野記念病院	2名
	思温病院	2名
	四天王寺病院	1名
	多根総合病院	1名
	富永病院	2名
	なにわ生野病院	2名
	日生病院	1名
	朋愛病院	1名
	山本第三病院	1名
	浪速区医師会事務局	1名

製品説明 ギリアド・サイエンシズ(株)

今回は国立病院 大阪医療センター、なにわ生野病院、思温病院から初出席があった。大阪医療センターでの地域連携の取り組み、予約方法の外注などが説明され、また、なにわ生野病院での外科の取り組みに関しても報告があった。その他、各病院でのブルーカードの責任者の確認、もしもインフルエンザ肺炎で入院となった際の対応方法などについて、病病連携も交えながら対応している様子を伺うことが出来た。

議 題

1. 第84回病診連携委員会報告について

前回委員会での議事内容の報告と確認を行った。

2. 大阪医療センターの地域連携や取り組みについて

かねてより敷居が高いと敬遠されがちであった、救急対応を断らない救急と言うことを前提にできる限り引き受ける体制をとるようにしているとのこと。もし、対応に問題があった場合には幹部にまで報告が上がるシステムにより、より監視体制を強化して救急医療を充実化していることで、徐々に搬送数は増えていると言った状況。現在は満床のため仕方なく断るケースが出てきているが、これも以前にはなかった事とのこと。

しかし電話取り次ぎに時間がかかっているケースがあるようで、今後の対策として考えて行く必要性がありそう。またインターネット上で院外から外来予約を取れるシステムが出来ている。現時点ではワンステップ介しての予約になるため、本当のダイレクトにはできていないが、セキュリティの面からも仕方ない対応と考えていると。各医師会との懇談会数も増やしてきており、おおよそ年間20回は行う予定とのこと。大阪市内に関しては2次、3次ともに対応できるということで、更なる飛躍が期待できる様子

であった。

3. 連携病院のブルーカードの対応状況とインフルエンザ対応、およびインフルエンザ肺炎の患者について

愛染橋病院：ブルーカードは外来ドクターへも周知されており、断る事はほぼないとのこと。責任監督としては地域連携室が行っている。

なにわ生野病院：管理は地域連携でしている。現状として、インフルエンザ肺炎入院でICUも満床が続いていると。

富永病院：内科、呼吸器内科が居ないためインフル肺炎での入院はできない。ブルーカードは地域連携の担当が中岡さんから若山さんへ変わったとのこと。

大手前病院：ブルーカードの登録自体なし。インフル肺炎は個室管理で対応している。

日生病院：本家さんと地域連携の事務で対応しているが、しかし登録自体が少ない。インフル肺炎は肺炎の部長と相談しつつ対応している。冬期に入り呼吸器疾患の患者が急増しているため。

大阪警察病院：医療事務の前方管理で対応。インフル肺炎も含め救急外来は断らない方針。

朋愛病院：芥川先生が担当。夜間でもとりあえず診に来てくれるとのこと。現在満床状態で、インフル肺炎も含め対応が難しい。病病連携もできているが、どの病院も今の時期は満床気味なので、対応が難しい様子。

NTT西日本大阪病院：ブルーカードは進行していない。インフル肺炎も病棟閉鎖もあるため受け入れ困難に。「そのような状態であることを可能な範囲で、ブルーカードのメーリングリストに載せていただくと助かる」との意見があった。

山本第三病院：ブルーカードは医療事務の前方管理。当直医の日替わりバイトが多いため認知は難しい。インフルエンザ肺炎への対応も難しい。

思温病院：ブルーカードは医療事務の前方管理。担当者、ファイルも存在する。しかし今の時期満床続きでインフル肺炎への対応は難しい状態とのこと。

大野記念病院：ブルーカード担当は榊さん。満床続きなので病床を何とかやりくりしている。

多根総合病院：担当は変わらず後藤さん。満床続きでインフルは院も個室で対応している。

四天王寺病院：ブルーカードの登録は無い。しかし病診連携室が管理。肺炎も対応しているがちょっと満床のピークは過ぎた印象とのこと。

育和会記念病院：佐藤が主体で担当。認知度は低い状態。インフル肺炎の対応は厳しい状態。

4. 本会の在宅医療連携の現状について

引き続き、在宅連携を病診連携、病病連携とも行っていく予定。今後今会議を3か月に1度の定期委員会にしていく予定。その他の議題、相談などはメーリングリストを通じて行っていく方針。

5. その他

ブルーカードの登録件数（合計597件、浪速区内の医師より549件、他地区の医師から48件、使用状況（のべ件数 全例で648件、浪速区609件、他地区で39件、10月1日からの4カ月でカード動向 計154件、新規33件、更新57件、入院11件、死亡4件）。

次回会議予定 平成30年3月26日（月）午後7時～